

第 27 回神奈川県スポーツ推進審議会議事録

日時：令和 6 年 12 月 20 日（金）14 時 00 分から 16 時 15 分まで

場所：神奈川県立スポーツセンター スポーツアリーナ 2 フェンシングフロア

出席者：笠井里津子【会長】、青木豊江、加藤元弥、熊坂俊博、坂本聡志、
佐藤けいすけ、渋谷弥生、清水咲子、鈴木秀雄、高山樹里、田口亜希、
平井孝幸、真野太樹、森正明 ※敬称略

1 開会

- 開会あいさつ（三枝スポーツ担当局長）
- 出席人数の確認（20 名中 14 名の委員出席により審議会成立）
- 委員紹介
- 会長及び副会長選出
 - ・ 笠井里津子委員を会長に、田中不二夫委員を副会長に選出
- 会議の公開について
 - ・ 非公開とする案件等なく、公開に決定
- 傍聴人の確認
 - ・ 傍聴人なし

2 議題

○笠井会長

それでは、議事運営を進めさせていただきます。

議題に入る前に事務局から報告事項があると伺っております。

事務局から報告をお願いします。

（県剣道連盟役員による不当な役員報酬等の受給について、矢島参事兼スポーツ課長から説明）

○笠井会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

(1) 神奈川県スポーツ推進計画及び本県の主なスポーツ施策について

○笠井会長

議題(1)神奈川県スポーツ推進計画及び本県の主なスポーツ施策について、事務局から説明をお願いします。

(資料1に基づいて、小川スポーツ課課長代理から説明)

○笠井会長

ありがとうございました。

神奈川県は山や海、湖と素晴らしい場所があり、様々な取組を進めているということでした。委員の皆さんから何かご質問等ありますでしょうか。

ないようですので次に進みます。

(2) 神奈川県スポーツ推進計画の改定スケジュールについて

○笠井会長

議題(2)神奈川県スポーツ推進計画の改定について、事務局から説明をお願いします。

(資料2に基づいて、小川スポーツ課課長代理から説明)

○笠井会長

ありがとうございました。ご質問等ありましたらお願いします。

○平井委員

神奈川県スポーツ推進計画の数値目標の見直しを行ったと思いますが、この数値目標を設定した根拠はありますか。

○矢島参事兼スポーツ課長

計画の見直しにあたり、数値目標を一步前進するということで、成人に関しては70%の数値目標を設定しました。

また、障がい者のスポーツ実施率については、当時、具体的な調査データがありませんでしたので、国の目標値に合わせて40%に設定しております。

○平井委員

数値目標については、数字を当て込んだ形ですかね。

○熊坂委員

私は前期から本審議会の委員でしたので、少し補足させていただきます。

各自治体の計画は、国のスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとされております。

国の第3期スポーツ基本計画では、成人の週1回のスポーツ実施率を70%、障がい者の週1回のスポーツ実施率を40%と目標設定しており、横浜市も県と同様にこれを参酌して目標設定をしております。

ただ、実情を見ますと、成人のスポーツ実施率や障がい者のスポーツ実施率は、国をはじめ、市も目標を達成できておらず、厳しい状況が続いております。

実際に、市によるスポーツ意識調査を見ますと、コロナ禍で一時的に実施率は上昇しましたが、その後下がっております。さらに深掘りをすると、運動不足や不健康だと思っていない人の割合も増えており、「運動＝健康」という意識が少し離れてきているのではというのが、市として考えているところです。

以上を踏まえ、次回、県の計画改定に向け、そうしたところも一緒に議論していければと思います。

○笠井委員

ありがとうございました。平井委員お願いします。

○平井委員

障がい者のスポーツ実施において、横浜市でアンケートを取った際、金銭的に余裕がないという回答のほかに、運動をする会場に行くまでの交通手段が確保できないという回答もありました。

横浜市では10月に運動会をやっておりますが、参加者が少なくなっているのが状況です。そのため、例えば障がい者施設にこちらから行き、運動する機会を作っていないと、障がい者のスポーツ実施率を上げるのは難しいと思いますので、今後、そういったところもご協議いただければと思います。

○笠井会長

貴重なご意見ありがとうございました。

平井委員から発言がありましたように、障がい者も含め誰もがスポーツを楽しめるよう、行政主導で運動をやりましょうという取組も必要ではないかと分かりました。

ほかにご質問等ありますでしょうか。

(3) 神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！かながわプラン」の改定について（諮問）

○笠井会長

それでは、今回は、神奈川県スポーツ推進計画の改定にあたって、神奈川県から諮問をしたいとの申し出がありましたので、お受けしたいと思います。事務局よろしくお願ひします。

（「神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！かながわプラン」の改定について（諮問）」について、三枝スポーツ担当局長から笠井会長に手交）

○笠井会長

ありがとうございます。ただいま、神奈川県からの諮問を受け取りました。今後、神奈川県スポーツ推進計画（エンジョイ・スポーツ！かながわプラン）の改定について、審議していくこととします。皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。

3 県立スポーツセンター視察

（大塚スポーツセンター所長の説明により、県立スポーツセンターを視察）

○笠井会長

皆様、貴重なご意見ありがとうございます。本日の議題は以上となりますが、最後に全体を通して、ご発言等ありましたらお願ひします。

○森委員

本日はありがとうございます。初めてスポーツセンターを見られた方もおり、よかったですと思います。

また、気になったところとして、スポーツセンターには測定機器含め、素晴らしい設備がありますが、こういった施設があるということが、まだまだ知られてないように感じます。どのような広報をしているのでしょうか。

○大塚スポーツセンター所長

学校の部活動支援や強化支援を行っておりますが、測定機器等の使い方が難しく、大学の先生にご協力をいただきながら、当センターの職員が使い方等を学び、習得しているところです。今後、どのように活動をひろげるかを検討

しております。測定機器等を使ってもらうため、定期的に選手が自身の成長を測るバロメーターとして利用してもらいたいとも考えております。

ただ、測定するには相当の時間がかかり、誰でもいつでも測定ができるというわけではないため、そういった状況も踏まえ、今後、どのような形で周知をしていくかを検討していきます。

○森委員

ありがとうございます。せっかくこのような素晴らしい施設がありますので、それをどう使うか、そしてどのように使ってもらうかが大切だと思います。どのように活用していただけるかをしっかり考えていかないともったいないと思います。

また、このセンターができて何年になるのでしょうか。

○大塚スポーツセンター所長

5年になりますが、3年間ほどコロナの影響がございました。ただ、オリンピック、パラリンピックの事前キャンプ等と大規模大会は、コロナ禍であっても対応させていただきました。

また、スポーツアリーナ1は工事中であり、スポーツセンター全体が稼働しているわけではございませんが、現在稼働している施設については、コロナ禍を経て、利用率が戻ってきております。今後、スポーツアリーナ1の工事が終了しましたら、順次、利用再開できますので、多くの方に使っていただけるよう周知をしてまいります。

○森委員

本日、審議会において施設を視察しましたので、これを契機として施設の周知に協力していきたいと思います。

真野委員、何かご意見をいただければと思います。

○真野委員

とても素晴らしい施設でした。

また、宿泊施設の広報や稼働率の課題があるというのも認識できましたので、なにかご協力できることがあればと思います。

○笠井委員

本当に委員の皆さんの協力が必要です。新聞に掲載されるなど、多くの方に知っていただければと思いますので、是非ご協力いただけたら嬉しく思いま

す。

それでは、これで会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

次回の審議会は年度末の3月を予定しております。司会を事務局にお戻しします。

4 閉会

○小川スポーツ課課長代理

本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございました。

それでは、これにて、第27回神奈川県スポーツ推進審議会を閉会します。